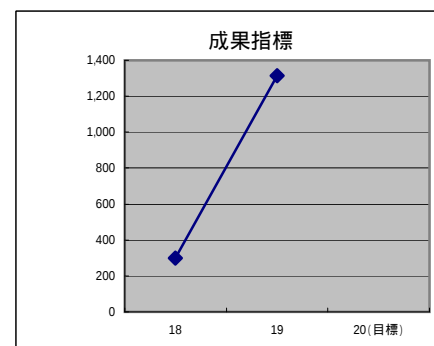
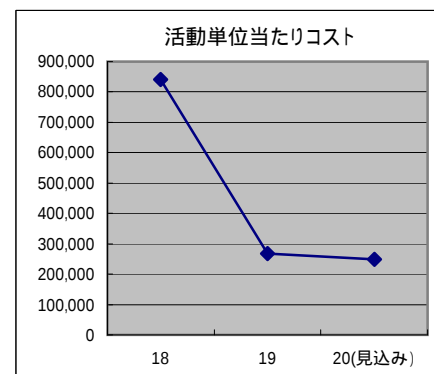


事務事業名		アドプトロード事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	8	土木費	
					項	2	道路橋梁費	
					目	2	道路舗装改良事業費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち	事業	70	アドプトロード推進		
	施策(節)	5	環境美化	作成部署 土木部道路課				
	施策の方向	(3)	環境美化活動の推進と美化意識の向上	連絡先 072 - 958 - 1111 内線 2241				
関連する計画等								
事業の目的								
対象(誰を・何を)								
高鷲駅を中心とした地域・道路等								
意図(どういう状態にしたいのか)								
町会・商店街・小学校・行政等が連携・協調し、駅周辺の清掃美化活動を行うことにより地域の活性化を図る。								
事業の内容								
高鷲小学校4年生及び高鷲南小学校1年生の生徒の手により、ポット苗等を生育します。→花苗の育成(花いっぱいプロジェクト)その後、生育された花苗を北宮中部町会・高鷲中央商店街の方々と一緒に定植する。また、日常的な作業として、水やりや清掃活動を近畿日本鉄道・近畿ニッポンレンタカー・高鷲中学校生・高鷲南中学校生及び地元ボランティアにも協力をいただき実施している。→花苗の定植・水やり、清掃美化活動(アドプトロード) なお、高鷲小学校・高鷲南小学校生による絵画の展示(ロードギャラリー)も行っている。								
根拠法令等								
事業開始時期								
☐ 昭和 ☒ 平成 18 年 月開始 ☐ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度								
事業開始時からの状況変化								
地域の魅力を再認識し、地元の啓発・心豊かな人づくりの創造が図られている。								
市民や議会の要望								
実施手法								
☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()								
委託先								
☐ 外郭団体委託 名称 ☐ 民間委託 委託内容								

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		0	464	310
人件費【2】 (千円)		1,680	1,680	1,680
職員数	正規職員	0.20 人	0.20 人	0.20 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		1,680	2,144	1,990
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	1,680	2,144	1,990
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
花いっぱいプロジェクト 回		2	8	8
清掃活動 回			2	2
ロードギャラリー 回			4	4
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		840,000 円	268,000 円	248,750 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		14 円	18 円	17 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		指標設定の考え方		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	式)	アドプトロード事業参加人数(人)	参加活動人数(延べ人数)	目標			達成率(%)			
				実績	300	1,314				
	式)			目標			達成率(%)			
				実績						

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	良好な道路環境の保全・魅力的で活気あふれる地域づくりの創出ができています。
		○						○	○		

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い			☒	☐	☐
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない			☒	☐	☐
	社会情勢の変化に対応している			☒	☐	☐
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない			☒	☐	☐
	国・府の事業と重複していない			☒	☐	☐
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい			☐	☒	☐
	緊急性が認められる			☐	☒	☐
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)			☒	☐	☐
	受益者負担の割合は適当である			☒	☐	☐
	人員を削減する余地がない			☒	☐	☐
	事業費を削減する余地がない			☒	☐	☐
	簡略化できる方法や手段がない			☒	☐	☐
	市の他事業と重複していない			☒	☐	☐
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない			☐	☒	☐
有効性	上位の施策(目的)が明確である			☒	☐	☐
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である			☒	☐	☐
	成果を向上させる余地がない			☐	☒	☐
	市民の視点にたってサービスが提供されている			☒	☐	☐
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している			☒	☐	☐
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている			☒	☐	☐
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している			☒	☐	☐
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている			☒	☐	☐
達成度	成果指標の目標値は適正である			☐	☐	☒
	成果指標の実績値は目標値以上である			☐	☐	☒
	成果指標は前年度より向上している			☐	☐	☒

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	地域の魅力を再認識し、地元の啓発・心豊かな人づくりの創造が図られている。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	今後も地域の活性化のためにも継続していきたい。	